

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	西米良村役場			代表者名	黒木竜二
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	むら創生課	連絡先電話番号	0983361111
担当者役職	課長	担当者氏名	吉丸和弘	連絡先E-mail	
住所	881-1411 宮崎県西米良村15				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	施設の民間移転
概要	本村の光関係施設は、公設公営（一部民間委託）の形をとっているが、電柱移転や雷等による修繕費や、サーバー等の保守料が高額となっている。また、数年に一度来る機器更改の費用も高額であり、村単独での維持管理が困難な状況にある。このような中、施設の民間譲渡による、民営化について提案する業者があり、そのメリット・デメリットについて検討を行うためのご指導をいただきたい。		
支援を求める分野	その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	233k	令和6年11月7日	事前打合せ&支援・助言	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月18日	事前打合せ(実地)	13時00分	15時00分	
				活動時間(分)	120
2-2. 派遣場所	会場名	西米良村役場	最寄駅	なし	
	所在地	宮崎県大字村所15番地	最寄駅からの交通手段	自家用車	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 英幸
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本村の光関係施設の状況について、親身になって詳しく話を聞いてくださり、適切なアドバイスをいただいた。また、次回には具体的な情報収集や判断を行っていただけるよう、九州総合通信局に訪問して打ち合わせを行うことになった。次年度の情報政策に向けて、解決の兆しが見えてきたように感じている。
アドバイザーへの要望事項	なし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	6人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	5	1		
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	小さな自治体のため、自前CATV施設を民間委託する方法が限られているが、それが村にとって良いものなのか自分たちでは判断ができない状況である。今回の事業により回数制限はあるものの、意見を聞いて方向性を決めていきたい。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	本村の自前CATV施設を、民家委託に進めていきたい。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	本村の自前CATV施設の状況を確認いただき、また、業者より提案いただいている民間委託の提案について内容を確認いただいた。 書面上では、民間委託の提案は悪い部分が見つからないため、今回は九州総合通信局に行き、情報提供をいただけるよう繋いでいただくことになった。アドバイザーにも同席いただく予定。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	民間委託について、前向きに検討していきたいと考えられるようになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 自前CATVを民家委託する方向で検討を進めることとした。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	民家委託について、書面だけで判断はできないため、今回は九総通に相談に行くこととなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、本村の状況について調査・検討を行っていただいたため実施なし	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定 状況によっては、次年度から本村のCATVを民間へIRU契約することにより公設民営とし、数年後には施設を民間譲渡することで、村民への情報化サービスの向上と村の経費縮減を目指す。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	完全民営化による、村民情報化サービスの向上や村の経費縮減を目指す。また、民営化し安定した高速ネット環境が確保できれば、地域DXやIoTによるスマートシティー化も図っていきたい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

